



2021年1月12日

各 位

東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号
渋谷マークシティ ウェスト 17階
ライク株式会社
代表取締役社長 岡本泰彦
(コード番号: 2462 東証第一部)
問合わせ先 取締役 事業会社統括 我堂佳世
兼 国際事業部 部長
TEL 03-5428-5577

デジタルトランスフォーメーション戦略の策定に関するお知らせ

当社グループは、デジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」）戦略を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社グループのDX推進に対する考え方

当社グループは、「…planning the Future～人を活かし、未来を創造する～」をグループ理念とし、保育・人材・介護の3つの事業を柱に、ゆりかごからハッピーエンディングまで人生のどの段階においてもなくてはならない生活総合支援企業グループを目指し、事業の拡大に邁進しております。

子育て支援サービス事業では、医療従事者や生活インフラを守る役割を担う方々のお子様もお預かりする病院・企業等が設置される事業所内保育施設・認可保育園・学童クラブを370ヶ所以上運営し、預かり児童数も10,500人を超えました。

総合人材サービス事業では、テレワークやE/C販売を実現するためのネットワークインフラを支える通信業界におけるカスタマーサポートや端末販売、生活必需品の円滑な流通を支える製造・物流業界、生活に不可欠な施設等の新設・維持補修を行う建設業界、保育・介護業界といった社会生活に欠かせない業界を中心に、就業人口の増加を実現すべく、働きやすい環境の整備と雇用の創出に注力しております。

介護関連サービス事業では、首都圏において24時間365日看護師が常駐する看取り介護を行う等医療連携に強みを持つ有料老人ホーム等を20ヶ所以上運営し、定員数は1,400名を超えております。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により世の中が激変する中でも、全ての事業において強い需要があり、社会に欠かせないものであることを再認識したことに加え、新たな需要も生まれているため、DXの推進により、変わらず必要とされているサービスを安定して提供し続けるとともに、新しく生まれた需要に応えるべく、新たなサービスや事業を創出してまいります。

2. 当社グループのDX戦略

(1) デジタル技術による既存事業のアップデートと新たな価値の創造

①既存サービスにおいて、リアルからデジタルへの置換と顧客満足度の最大化を掛け合わせることで、デジタル技術によるアップデートを実現し、企業価値を向上。

②事業規模による業界への影響力を活かし、デジタル技術による業務効率化のモデルケースになることで、業界全体のデジタル化を加速。

- ③グループ内で保有する保護者様・お子様、求職者様・スタッフ様、ご入居者様・ご家族様へのサービス提供により得られるデータを利活用し、社会に必要とされる新たなサービス・事業を創出。
- ④デジタル技術により、距離・時間といった制限により提供できなかった、社会に必要とされるサービス・事業を実現。

(2) DX戦略の推進体制

ライク株式会社代表取締役社長を統括責任者、経営戦略部長を実務責任者といたします。なお、グループの各事業会社代表取締役は、DX戦略の実現に伴う価値創造により企業収益を拡大することに責任を負うことから、グループ全社・全部門がDXを推進する体制となります。

DXを推進する人材の確保・育成については、外部機関を利用し教育している他、新規採用も進めております。

また、すでに取引のあるデジタル技術に関する外部組織との関係を強化するだけでなく、これまでスタートアップ企業に対する支援にも注力し、出資だけでなく、デジタル技術に対して様々なPoC (Proof of Concept : 概念実証) も繰り返してきたことから、新たなパートナーとの協業も推進してまいります。

(3) ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に関する方策

グループの全事業において、急速に変容・拡大していることから、定期的にレガシーシステムの見直しや新たなサービスのための開発を検討しており、每期、予算化し、必要な費用を投資しております。投資効果も検証しておりますが、さらに、固定費の削減や新たなサービスによる収益の増加に注力することで、グループ全体で投資をコントロールいたします。

3. DX戦略の達成度を測る指標

DX戦略の達成が、グループの企業収益を高めるものと考えておりますため、2021年1月12日に公表いたしました中期経営計画(2021~2025年5月期)の達成を指標といたします。

以 上

ライクグループの デジタルトランスフォーメーション

2021年1月

...planning the Future

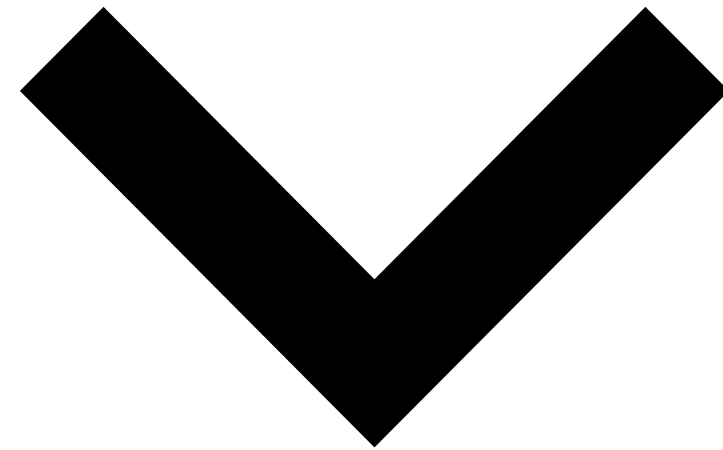
～人を活かし、未来を創造する～

ゆりかごからハッピーエンディングまで、
人生のどの段階においても**なくてはならない**

“生活総合支援企業グループ”へ

デジタルトランスフォーメーション (DX) に取り組む理由

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、
保育・人材・介護の全ての事業が
社会になくてはならないものであることを**再認識**。
既存事業の継続と新たな需要に対応すべく**アップデート**



beforeコロナにおいて認識されていた役割

待機児童解消

労働人口増加

介護需要対応

保育

人材

介護

女性活躍推進

介護離職解消

保育サービスを必要とする、すべての人のために

=運営施設数・預かり児童数の拡大

(2020年11月末現在：運営施設374ヶ所、預かり児童数10,525人)

+

子育てを孤立させない
セーフティネットの
整備

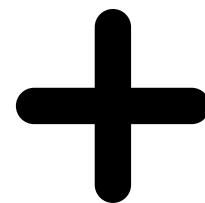
生活インフラを守る
役割を担う方々に安心
していただける運営

激変する環境において
も生きていく力を育む
保育プログラム

...

世代・国籍・経歴・働き方を問わない社会進出支援
により、**就業人口の増加を実現**

(2020年11月末現在：派遣スタッフ数7,362人)



人員削減が進む
業界に対する
雇用の創出

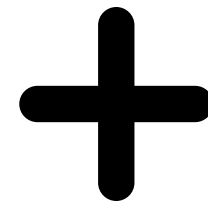
多様化と働きやすい
環境づくりを推進

生活インフラを
支える業界・業種の
イメージを適正化

...

介護需要が逼迫する首都圏を中心に、
医療機関と連携した看取り介護・自立支援を提供

(2020年11月末現在：運営施設24ヶ所、定員数 1,439名)



介護を孤立させない
セーフティネットの
整備

生活インフラを守る
役割を担う方々に安心
していただける運営

多様化による安定した
高品質のサービスを
業界に浸透

...

保育

人材

介護

共通の課題

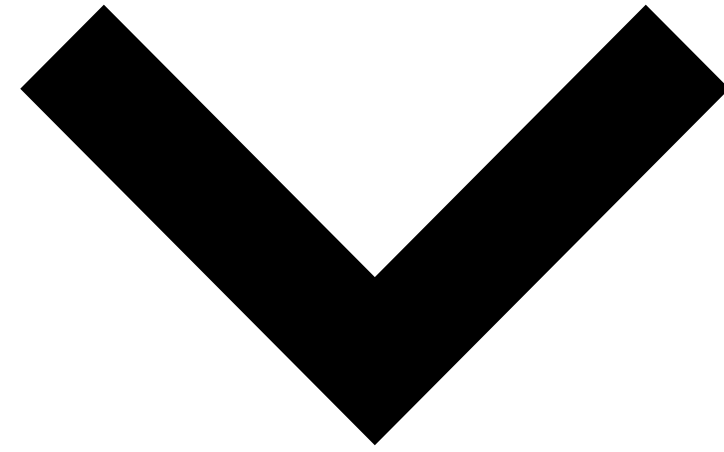


業界や社会経験に捉われない活躍を実現するための研修

多様な人材が活躍できる受け入れ体制の仕組み化

週5フルタイム以外等働き方の多様化の推進

業務の見直しによる働きやすい環境づくり



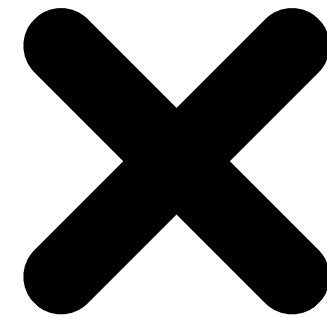
激変する環境においても変わらず必要とされるサービスを
安定して提供し続けるとともに、
さらに、新しく生まれた需要に応えるためには、
DXを推進し、新たなサービスや事業を創出することが不可欠

ライクグループの DX戦略

デジタル技術による

既存事業のアップデートと新たな価値の創造

リアルから
デジタルへの置換



顧客満足度の
最大化

デジタル技術による **アップデートを実現し、**
企業価値を向上
(Digitalization→DX)

保育・人材・介護の全ての事業において、
事業規模は業界のトップクラス

デジタル技術による業務効率化のモデルケース
になることで、業界全体のデジタル化を加速
(Digitalization)

データの利活用による新たな価値の創造

保護者様・お子さま、求職者様・スタッフ様、
ご入居者様・ご家族様等への
サービス提供により得られるデータ

社会になくってはならない
新たなサービス・事業を創出
(Digitization→DX)

距離・時間といった制限により
提供できなかったサービス

社会になくではならないサービス・事業を
デジタル技術により実現
(DX)

D X戦略の達成度を測る指標

中期経営計画（2021～2025年5月期） の達成

D X戦略の達成
= グループの企業収益の向上